

「2019 年度金沢大学大学院新学術創成研究科融合科学共同専攻(修士課程)ガイドブック」について

学生部学務課新学術創成研究科係

「2019 年度金沢大学大学院新学術創成研究科融合科学共同専攻(修士課程)ガイドブック」について、以下の変更がありましたのでお知らせします。

■16 ページ

(誤) 第1クォーター・第2クォーター 木曜5限
文化資源学概論/河合 他/人間社会第1講義棟 303 講義室

(正) 第1クォーター・第2クォーター 木曜5限
文化資源学概論/河合 他/人間社会第1講義棟 203 講義室

■16 ページ

(誤) 第1クォーター 月曜6限 (18:15-19:45) 起業家への道
第2クォーター 火曜6限 (18:15-19:45) 起業家の中核技術と戦略

(正) 第1クォーター 月曜6限 (18:10-19:40) 起業家への道
第2クォーター 火曜6限 (18:10-19:40) 起業家の中核技術と戦略

■25 ページ 8.15 その他

(誤) 単位認定の対象(正課)でないインターンシップに参加する場合も、万が一の際に保険を適用させるため、必ず実習前に「インターンシップ届出書兼誓約書」を新学術創成研究科係へ提出すること。

(正) 単位認定の対象(正課)でないインターンシップに参加する場合も、万が一の際に保険を適用させるため、必ず実習前に アカンサスポータルの教学>LMS コース(WebClass)>その他情報>「インターンシップ誓約兼届出」に必要事項を入力し登録すること。

2019 年度

金沢大学大学院新学術創成研究科
融合科学共同専攻（修士課程）

ガイドブック
Guide book



GRAfiniti

新学術創成研究科

目次

I	融合科学共同専攻の教育理念・目的、養成する人材像	2
II	指導教員一覧	4
III	2019 年度学年暦	6
IV	履修概要	8
1	科目一覧（両大学）	8
2	学期・授業時間	10
3	授業科目の体系と区分・必修要件	11
4	修了要件	14
5	履修モデル	15
6	2019 年度 時間割表	16
7	履修登録・成績通知等	23
8	インターンシップ	23
V	教育・研究指導体制	26
1	主任研究指導教員（本学）	26
2	副主任研究指導教員（JAIST）	26
3	研究連携協力教員（本学）	26
VI	学位授与	27
1	学位申請	27
2	修士論文又は課題研究報告書の提出	27
3	中間発表・最終発表	27
4	学位論文審査	27
5	学位の授与	27
6	学位取得に至るスケジュール	28
VII	その他	29
1	本籍大学	29
2	アカンサスポータル・金沢大学 ID	29
3	ネットワーク ID・E メールアドレス	29
4	各大学からの連絡	29
5	無料送迎車	30
6	駐車場の利用	30
7	学生証	32
8	自習スペースの利用	32
	付図	34

I 融合科学共同専攻の教育理念・目的、養成する人材像

金沢大学（以下「本学」という。）と北陸先端科学技術大学院大学（以下「JAIST」という。）の両大学は、「グローバル社会のニーズや動向に応じて、独創的な発想と卓越した研究力を基に、科学技術イノベーションの基盤を生み出し、社会実装できる博士人材」（以下「科学技術イノベーション人材」という。）を養成するため、本学においては、大学院新学術創成研究科に、JAISTにおいては、先端科学技術研究科に、それぞれ融合科学共同専攻（以下「本共同専攻」という。）を設置し、共同教育課程を編成する。

【教育理念・目的】

科学技術イノベーション人材の養成に当たり、両大学は、イノベーションの源泉は「新たな『知』の創造」にあると定義した上で、それを実現するための一貫した教育理念として、「融合科学の促進」を掲げる。

「融合科学の促進」を「科学技術イノベーションに関連する複雑な社会課題の解決に向けて、既存の科学分野を超える枠組みの下で、“科学を融合する方法論”の探求・実践により、複数の科学分野の融合を促進させること」と定義し、これに基づいた教育体系を構築する。

○ 3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）

この教育理念を実現するためのフレームワークとして、本共同専攻には、特にコース等を設けずの専攻のみによって構成することとし、一方で、複雑な社会課題の解決に向けた既存の科学分野を超える枠組みとして、両大学の強み・特色となる分野を結集し、以下に掲げる3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）を設定する。

I：ライフイノベーション（健康的で質の高いライフスタイルの創出）

[キーワード]

個々の健康的なライフスタイルに資する生物学的・生体的機能の計測・解明・制御と、その応用

II：グリーンイノベーション（環境に適合した次世代型〈材料・デバイス・エネルギー〉の創生）

[キーワード]

自然エネルギー・再生可能エネルギーの創出、貯蔵、輸送／新素材やナノテクノロジーを利用した省エネルギーデバイス開発

III：システムイノベーション（科学技術と人や社会とが調和した未来社会の創造）

[キーワード]

ビッグデータや人工知能（AI）を活用した知的システムの開発／生物をヒントにしたシステム・機械の開発／自然環境や文化的環境等を踏まえた社会環境改善

○ 4つの「力」(フォース)

また、本共同専攻では、“科学を融合する方法論”の探求・実践に当たって、自らの研究分野を超えた「異分野」に飛び込み、異なる知識背景を持つ他者とコミュニケーションできる「力」を身に付ける必要がある。その「力」を一様に定義することは困難であるが、その通底する基礎として、以下に掲げる4つの「力」(フォース)を設定する。

Force 1： データ解析する「力」

融合しようとする各科学分野の視点で、現象を表すデータを多角的に解析する「力」

Force 2： モデル化する「力」

融合分野の基礎に矛盾しないモデルを提唱する「力」

Force 3： 可視化する「力」

他分野の人にも分かりやすい“図”を呈示する「力」

Force 4： デザインする「力」

他分野及び社会とのインタラクションを通して自己の提案を改変しながら、問題を解決していく「力」

従って、本共同専攻の学生は、3つの挑戦的なイノベーションの枠組み(3つのチャレンジ)のいずれか1つを選択し、当該枠組みに応じて体系的にカリキュラムを履修するとともに、複数の研究指導教員から指導を受ける。また、教員や学友、企業人など多様な他者と積極的に交流する中で、4つのフォースを基礎とした“科学を融合する方法論”を自ら探求・実践し、異なる知見や観点から新たなアイデアを創出させ、学生自身が設定した研究課題を進展させる。その上で、5つの能力・資質(コンピテンス)を修得することにより、本共同専攻が目指す「科学技術イノベーション人材」の育成が達成できる。

○ 5つの能力・資質(コンピテンス)

- 1) 課題解決能力
- 2) 専門的知識と実践力
- 3) 他分野への理解と実践力
- 4) 表現力・コミュニケーション能力
- 5) 研究者倫理観

【養成する人材像】

グローバル社会のニーズや動向を察知し、様々な科学的知見と先端科学技術を基に、科学技術イノベーションに協奏的・共創的に貢献できる人材。

【ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー】

以下のWebサイトに掲載しています。

<https://gsinfinity.w3.kanazawa-u.ac.jp/policy/>

Ⅱ 指導教員一覧

	指導教員の職・氏名	研究分野・キーワード	居室
金沢大学	教授 後藤 典子	幹細胞生物学, がんの分子生物学, 分子標的, バイオマーカー, シグナル伝達	がん進展制御研究所 321
	教授 高橋 智聡	腫瘍分子生物学, がん遺伝学, がん抑制遺伝子, がん代謝	がん進展制御研究所 523
	教授 松本 邦夫	バイオテクノロジー, がんの生物学, 細胞増殖因子, 創薬, タンパク質工学	がん進展制御研究所 417
	教授 鈴木 健之	分子生物学, 機能ゲノム学, ゲノム情報, エピジェネティクス, 転写制御	がん進展制御研究所 423
	教授 井上 啓	代謝学, 生理学, 食生活学, 糖代謝, 肝臓, インスリン	(宝町) 医学類 B 棟 b33
	教授 佐藤 純	神経科学, 神経発生学, 数理生物学, 脳, 神経回路, カラム, ショウジョウバエ, 数理モデリング	(宝町) 医学類 B 棟 b44
	教授 須釜 淳子	看護学, 健康, 看護理工学, 臨床研究, 加齢, 老化, マイクロバイオーム, スキンケア	鶴間保健学類 4 号館 4421
	教授 Richard Wong	細胞生物学, 分子イメージング, 核膜孔, 超解像顕微鏡, 生細胞イメージング	自然科学 1 号館 B ブロック 414
	准教授 小川 数馬	核医学, 放射性薬剤, 分析化学, 癌, イメージング, 分子プローブ	自然科学 1 号館 A ブロック 411
	准教授 柴田 幹大	生物物理学, ナノバイオサイエンス, タンパク質, バイオイメージング, 原子間力顕微鏡, 高速 AFM	ナノ生命科学研究所 B205
	教授 水野 元博	ナノ構造化学, 機能物性化学, ナノ構造解析, 超分子, 固体 NMR	自然科学 5 号館 626
	教授 當摩 哲也	エネルギーハーベスティング, 環境発電, 有機薄膜太陽電池, 有機デバイス, 分子配向制御, ナノ構造制御, 結晶性制御	自然科学 1 号館 C ブロック 510
	准教授 仁宮 一章	木質科学, 農芸化学, 生物工学, 高分子化学, 木質バイオマス, バイオマスリファイナリー, イオン液体	自然科学 1 号館 C ブロック 317
	教授 菅沼 直樹	移動ロボット, 自動運転自動車, 知能ロボット, モーションプランニング	自然科学 2 号館 A ブロック 619
	教授 坂本 二郎	設計工学, バイオメカニクス, 最適設計, 材料力学, 計算力学, CAE, 構造最適化, 骨, 筋骨格系, バイオインスパイアードデザイン	自然科学 3 号館 A ブロック 510
	教授 飯山 宏一	電子工学, 光エレクトロニクス, 計測工学, 光計測, 光通信, 光ファイバ, 波動信号処理	自然科学 2 号館 A ブロック 315
	教授 松井 三枝	臨床神経心理学, 精神神経科学, 認知脳科学, 記憶, 前頭葉機能, 神経可塑性, 統合失調症, 認知リハビリテーション	総合教育 2 号館 375-2
	教授 小島 治幸	心理学, 認知科学, 脳科学, 知覚認識, 認知, 行動, 脳神経システム	人間社会 1 号館 111
	教授 河合 望	考古学, 文化遺産学, 博物館学, エジプト考古学, 文化遺産の保存と活用	人間社会 1 号館 605
	教授 寒河江 雅彦	統計科学, データマイニング, ビックデータ解析, ノンパラメトリック統計学, 統計的モデリング	人間社会 2 号館 576

	指導教員の職・氏名	研究分野・キーワード	居室
北陸先端科学技術大学院大学	教授 塚原 俊文	RNA スプライシング, RNA 編集, 遺伝子発現制御, 遺伝子修復	マテリアルサイエンス系 研究棟Ⅰ棟 4F M1-41
	教授 松見 紀佳	リチウムイオン2次電池, 光電気化学的水分解, リチウム空気電池, 機能性高分子	マテリアルサイエンス系 研究棟Ⅲ棟 3F M3-31
	教授 小矢野 幹夫	物理・実験系, 低次元伝導体, 熱電変換の物理, 熱電材料, エネルギーの有効利用, エネルギーハーベスティング	マテリアルサイエンス系 研究棟Ⅳ棟 7F M4-71
	教授 堀田 將	低温作製, 電子材料, シリコン系, 電子物性	マテリアルサイエンス系 研究棟Ⅰ棟 7F M1-70
	教授 林 幸雄	無線通信, フラクタル物理, 生物メカニズム, アルゴリズム, 数値最適化, SNS	知識科学系研究棟Ⅲ棟 4F K-45b
	教授 小谷 一孔	画像処理, 画像認識, コンピュータビジョン, CG, 画像特徴抽出, 動画画像解析, 顔画像解析, 表情認識, 画像中のオブジェクトの質感, 医用画像解析, 3D 画像処理	情報科学系研究棟Ⅱ棟 8F I-84b
	教授 青木 利晃	モデル検査, 定理証明, 形式仕様記述, 組込みシステム, 車載システム, 産業応用	情報科学系研究棟Ⅱ棟 7F I-74a
	准教授 HO Anh-Van	ロボティクス, ソフトロボティクス, 柔軟な感触装置	総合研究実験棟 4F C2-404b
	准教授 西村 俊	触媒化学, 固体触媒, 合金触媒, バイオマス変換, 資源・エネルギーの有効利用技術, 金属ナノ粒子触媒, 固体酸塩基触媒, 新触媒の創成, 触媒作用機構の解明	マテリアルサイエンス系 研究棟Ⅲ棟 5F M3-51

Ⅲ 2019 年度学年暦

【金沢大学】

第1クォーター・第2クォーター

曜	日	月	火	水	木	金	土	
4	31	1	履修ガイダンス	新入生健康診断 学類等オリ			6	Q1
	入学宣誓式	8	9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
5	28	29	30	1	2	3	4	Q2
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31	1	
6	2	3	4	5	6	7	8	Q3
	9	10	11	12	13	14	15	
	16	17	18	19	20	21	22	
	23	24	25	26	27	28	29	
7	30	1	2	3	4	5	6	Q4
	7	8	9	10	11	12	13	
	14	15	月曜替	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25	26	27	
	28	29	30	31	1	2	3	
8	4	5	6	設営	CV	SC	10	Q5
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9	1	2	3	4	5	6	7	Q6
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	学位授与	27	28	
	29	30						
授業*		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	回	
試験*		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	回	

第3クォーター・第4クォーター

曜	日	月	火	水	木	金	土	
10	29	30	入学宣誓式	2	3	4	5	Q3
	6	7	8	9	10	11	12	
	13	14	15	月曜替	17	18	19	
	20	21	22	23	24	設営	金大祭	
11	金大祭	撤収	29	30	月曜替	1	2	Q4
	3	4	5	6	7	8	9	
	10	11	12	13	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	25	26	27	28	29	30	
12	1	2	3	4	5	6	7	Q5
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	金曜替	25	26	27	28	
1	29	30	31	1	2	3	4	Q6
	5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	設営	センター試験	
	センター試験	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30	31	1	
2	2	3	4	5	6	7	8	Q7
	9	10	11	TOEIC-IP	14	15	16	
	17	18	19	20	21	22	23	
	24	前期日程	26	27	28	29	30	
3	1	2	3	4	5	6	7	Q8
	8	9	10	11	後期日程	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	学位授与	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					
授業*		7.5	7.5	7.5	7.5	7.5	回	
試験*		0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	回	

 授業日
 試験日
 休業日
 夏季休業, 冬季休業, 春季休業等
 臨時休講日

○履修ガイダンス 4/2(火)
 ○学類等オリエンテーション 4/3(水)・4/4(木)
 ○新入生健康診断 4/3(水)～4/5(金)
 ○入学宣誓式 4/7(日)
 ○第1クォーター授業開始 4/8(月)
 金沢大学開学記念日(授業実施) 5/31(金)
 Q1 補講週間 5/21～6/3の6限(2週間)

○第2クォーター授業開始 6/11(火)
 曜日振替日(月曜扱いの講義日) 7/16(火)
 Q2 補講週間 7/17～7/30の6限(2週間)
 キャンパスビジット設営 8/7(水)
 キャンパスビジット 8/8(木)
 サマーカレッジ 8/9(金)
 9月期学位記授与式 9/26(木)

※授業回数, 試験回数は各クォーターにおける開講数を示す。

○10月期入学宣誓式 10/1(火)
 ○第3クォーター授業開始 10/1(火)
 曜日振替日(月曜扱いの講義日) 10/16(水)
 曜日振替日(月曜扱いの講義日) 10/31(木)
 金大祭 10/26(土)・27(日)
 金大祭設営・撤収 10/25(金), 10/28(月)
 Q3 補講週間 11/12～25の6限(2週間)

○第4クォーター授業開始 12/3(火)
 曜日振替日(金曜扱いの講義日) 12/24(火)
 センター試験設営 1/17(金)
 センター試験 1/18(土)・19(日)
 Q4 補講週間 1/21～31, 2/3の6限(2週間)
 TOEIC-IP(1年生) 2/12(水)・2/13(木)
 前期日程入試 2/25(火)
 (医学類のみ25日(火)・26日(水))
 後期日程入試 3/12(木)
 学位記・修了証書授与式 3/22(日)

入学式 オリ 全行 試験期間						
東京オリテン						
4月 石川オリテン(4/5~4/11) ↑						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
5月 1の1期						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
6月 安全講習会						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
7月 1の2期						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
8月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
9月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

○ は学位記授与式

東京オリテン						
10月 石川オリテン(10/3~10/9) ↑						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
11月 2の1期						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
12月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				
1月 2の2期						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- ※ 6月 7日（金）は、講義回数調整のため、月曜日の講義を行う。
- ※ 11月 28日（木）は、講義回数調整のため、月曜日の講義を行う。
- ※ 11月 29日（金）は、講義回数調整のため、火曜日の講義を行う。
- ※ 2月 4日（火）は、講義回数調整のため、木曜日の講義を行う。
- ※ 2月 5日（水）は、講義回数調整のため、金曜日の講義を行う。

Ⅳ 履修概要

1 科目一覧（両大学）

科目区分		授業科目の名称	開講大学	単位		履修要件
				必修	選択	
基幹教育科目		研究者倫理*1	金沢大学	1		・4単位以上修得すること。 ・金沢大学で入学手続きをした者は、*1を履修すること。 ・*2から2単位以上修得すること。
		起業家の中核技術と戦略	金沢大学		1	
		起業家への道	金沢大学		1	
		人間力イノベーション論	J A I S T		1	
		創出力イノベーション論	J A I S T		1	
		実践的データ分析・統計概論 *2	金沢大学		2	
		データ分析のための情報統計学 *2	J A I S T		2	
異分野「超」体験科目		異分野「超」体験セッションⅠ*3	共同開講	2		・4単位以上修得すること。 ・*3は、金沢大学開講1単位、北陸先端科学技術大学院大学開講1単位の合計2単位とする。 ・金沢大学で入学手続きをした者は、*4から1単位以上を修得すること。
		異分野「超」体験実践Ⅰa（金沢）	金沢大学		1	
		異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）	金沢大学		1	
		異分野「超」体験実践Ⅰa（JAIST）*4	J A I S T		1	
		異分野「超」体験実践Ⅰb（JAIST）*4	J A I S T		1	
社会実装科目		インターンシップ（金沢）*5	金沢大学	2		・2単位以上修得すること。 ・金沢大学で入学手続きをした者は、*5を履修すること。
		インターンシップ（JAIST）◇履修不可	J A I S T	2		
専門科目	共通科目	分散並列リアルタイムシステム構成論	金沢大学		2	・「共通科目」、「生命科学系科目」、「材料科学系科目」及び「社会システム科学系科目」から2つ以上の科目区分から履修すること。 ・*7又は*8を履修する者は、専門科目から10単位以上修得すること。 ・*9を履修する者は、専門科目から12単位以上修得すること。
		データマイニング論	金沢大学		2	
		生命情報と先端バイオ	金沢大学		2	
		映像情報処理学	金沢大学		2	
		衛星測位工学	金沢大学		2	
		アレイ信号処理特論	金沢大学		2	
		通信工学特論	金沢大学		2	
		実験哲学概論	J A I S T		2	
		認知科学概論	J A I S T		2	
		データ分析学基礎	J A I S T		2	
		データ分析学	J A I S T		2	
		デザイン創造過程論	J A I S T		2	
		アルゴリズムとデータ構造	J A I S T		2	
		プログラミング基礎	J A I S T		2	
		情報代数	J A I S T		2	
		数理論理学	J A I S T		2	
		情報解析学特論	J A I S T		2	
		形式言語とオートマトン	J A I S T		2	
		計算論	J A I S T		2	
		画像情報処理特論	J A I S T		2	
		ダイナミクスのモデリング	J A I S T		2	
	生命科学系科目	がんの生命科学Ⅰ	金沢大学		2	
		がんの生命科学Ⅱ	金沢大学		2	
		生体分子ダイナミクス	金沢大学		2	
		生物・分子物理学	金沢大学		2	
		日和見感染症とティッシュ・パイアビリティ・ケア	金沢大学		2	
		創薬分子プローブ概論Ⅰ	金沢大学		1	
		創薬分子プローブ概論Ⅱ	金沢大学		1	
		ヒューマンボディー：構造	金沢大学		2	
		ヒューマンボディー：機能	金沢大学		2	
		ヒューマンボディー：疾患	金沢大学		2	
		生物機能概論	J A I S T		2	
		生物有機化学特論	J A I S T		2	
		生物物理化学特論	J A I S T		2	
		生体分子機能特論	J A I S T		2	
		生体材料分析特論	J A I S T		2	
		医用生体材料特論	J A I S T		2	

科目区分	授業科目の名称	開講 大学	単位		履修要件
			必修	選択	
専門科目	材料科学系科目	光波工学	金沢大学	2	
		知的自律移動ロボット工学特論Ⅰ	金沢大学	2	
		バイオメカニクス工学特論Ⅰ	金沢大学	2	
		エネルギー・環境プログラム序論	金沢大学	1	
		マテリアルプログラム序論	金沢大学	1	
		太陽電池工学特論Ⅰ	金沢大学	2	
		物性物理化学特論Ⅰ	金沢大学	2	
		高分子材料合成化学	金沢大学	2	
		機能性高分子材料化学	金沢大学	2	
		バイオリファイナリー工学特論Ⅰ	金沢大学	2	
		表面・界面工学特論Ⅰ	金沢大学	2	
		デバイスプロセス工学	金沢大学	2	
		固体物性評価基礎論	金沢大学	2	
		材料物理概論	JAIST	2	
		材料化学概論	JAIST	2	
		量子力学特論	JAIST	2	
		統計力学特論	JAIST	2	
		応用電磁気学特論	JAIST	2	
		有機分子化学特論	JAIST	2	
		物質計算科学特論	JAIST	2	
		有機材料物性特論	JAIST	2	
		無機材料化学特論	JAIST	2	
		機器分析化学特論	JAIST	2	
		固体物理学特論Ⅰ	JAIST	2	
		応用物性数学特論	JAIST	2	
		触媒化学特論	JAIST	2	
		高分子化学特論Ⅰ	JAIST	2	
		メカトロニクス	JAIST	2	
		デバイス物理特論	JAIST	2	
		固体物理学特論Ⅱ	JAIST	2	
	社会システム科学系科目	考古学と自然科学	金沢大学	2	
		認知行動融合科学基礎論	金沢大学	2	
		比較認知概論	金沢大学	2	
		運動生理学概論	金沢大学	2	
		文明学特論	金沢大学	2	
		臨床神経心理学Ⅰ	金沢大学	2	
		文化資源学概論	金沢大学	2	
		社会科学方法論	JAIST	2	
		知識メディア方法論	JAIST	2	
		システム思考論	JAIST	2	
		ネットワーク科学論	JAIST	2	
		認知科学	JAIST	2	
		メディア創造論	JAIST	2	
		イノベーション・マネジメント論	JAIST	2	
		サービス経営論	JAIST	2	
		離散信号処理特論	JAIST	2	
		システム最適化	JAIST	2	
		計算機アーキテクチャ特論	JAIST	2	
		ソフトウェア設計論	JAIST	2	
		自然言語処理Ⅰ	JAIST	2	
		統計的信号処理特論	JAIST	2	
		オペレーティングシステム特論	JAIST	2	
		ゲーム情報学特論	JAIST	2	
		認識処理工学特論	JAIST	2	
		ソフトウェア検証論	JAIST	2	
研究支援科目	ゼミナール・演習Ⅰ（金沢）◇履修不可	金沢大学	2		・金沢大学で入学手続きをした者は、*6を履修すること。 ・金沢大学で入学手続きをした者が、研究の取りまとめを修士論文により行う場合は、*7を履修すること。 ・金沢大学で入学手続きをした者が、研究の取りまとめを課題研究により行う場合は、*8を履修すること。また、「異分野『超』体験科目」、「社会実装科目」及び「専門科目」から合計20単位以上修得すること。 ・金沢大学で入学手続きをした者が、研究の取りまとめを博士研究計画調査により行う場合は、*9を履修すること。また、「異分野『超』体験科目」、「社会実装科目」及び「専門科目」から合計22単位以上修得すること。
	ゼミナール・演習Ⅰ（JAIST）*6	JAIST	2		
	融合科学研究論文Ⅰ（金沢）*7	金沢大学	6		
	融合科学研究論文Ⅰ（JAIST）◇履修不可	JAIST	6		
	融合科学課題研究（金沢）*8	金沢大学	2		
	融合科学課題研究（JAIST）◇履修不可	JAIST	2		
	融合科学博士研究計画調査（金沢）*9	金沢大学	2		
	融合科学博士研究計画調査（JAIST）◇履修不可	JAIST	2		

金沢大学の学生は、◇マークの科目は履修不可
JAIST開講の科目から10単位以上を修得すること

2 学期・授業時間

本学及び JAIST の学期、授業期間及び授業時間は別表 1 のとおりである。

本学における授業は 1 回 90 分で週に 1 回の受講となる。2 単位のセメスター（前期もしくは後期）科目であればおよそ 4 か月間で終了し、1 単位のクォーター（Q1・Q2・Q3 もしくは Q4）科目であれば 8 週間で終了する。

JAIST における授業は 1 回 100 分で週に 2 回の受講となる。基本的に 2 単位のクォーター（1 の 1 期・1 の 2 期・2 の 1 期もしくは 2 の 2 期）科目であり 8 週間で終了する。詳細は各科目のシラバス等で確認すること。

なお、JAIST の週に 2 回の授業の組合せは、別表 2 のとおりである。

【別表 1】

区分	学期	授業時間
本学	前期 { 第 1 クォーター（8 週間） 第 2 クォーター（8 週間）	1 時限 8 : 45 ~ 10 : 15
		2 時限 10 : 30 ~ 12 : 00
	後期 { 第 3 クォーター（8 週間） 第 4 クォーター（8 週間）	3 時限 13 : 00 ~ 14 : 30
		4 時限 14 : 45 ~ 16 : 15
	※各期の授業期間終了後に、定期試験の期間を設ける。	5 時限 16 : 30 ~ 18 : 00
		6 時限 18 : 15 ~ 19 : 45
JAIST	第 1 学期 : 1 の 1 期、1 の 2 期（各 8 週間）、 夏期集中講義（8 月・9 月）	1 時限 9 : 00 ~ 10 : 40
		2 時限 10 : 50 ~ 12 : 30
	第 2 学期 : 2 の 1 期、2 の 2 期（各 8 週間）、 冬期集中講義（2 月・3 月）	3 時限 13 : 30 ~ 15 : 10（チュートリアルアワー）
		4 時限 15 : 20 ~ 17 : 00
	※各期の授業期間終了後に、定期試験の期間を設ける。集中講義については、原則として各授業の終了後に定期試験を実施する。定期試験の日程は別に定められるため、22 ページを参照すること。	5 時限 17 : 10 ~ 18 : 50
		※チュートリアルアワーとは、当日 1 時限目の授業に関する学生の質問・相談等に応じるための時間帯又は補習、補講等に充てる時間帯のことで、科目によっては出席しないと、単位修得ができない場合があるので、担当教員の指示に従うこと。なお、火・木曜日の 4 時限目に開講する科目にはチュートリアルアワーはない。

【別表 2】

	月	火	水	木	金
1	月曜1限目の授業	火曜1限目の授業	水曜1限目の授業	火曜2限目の授業	月曜2限目の授業
2	月曜2限目の授業	火曜2限目の授業	月曜1限目の授業	火曜1限目の授業	水曜1限目の授業
3	1限目のチュートリアルアワー				
4		火曜4限目の授業		火曜4限目の授業	
5					

3 授業科目の体系と区分・必修要件

3.1 基幹教育科目

1年次の第1クォーターから第3クォーターにかけて以下の科目を設け、選択必修科目とする。なお、本学の学生は研究者倫理（本学開講）を必ず選択すること。これにより科学技術イノベーションに関連する複雑な社会課題の解決に向けた研究に取り組むための基盤となる基本的知識を養う。

（以下、○内の数字は単位数を表す。）

「研究者倫理（本学開講）」①

「起業家の中核技術と戦略（本学開講）」①

「起業家への道（本学開講）」①

「人間カイノベーション論（JAIST 開講）」①

「創出カイノベーション論（JAIST 開講）」①

また、1年次の第1クォーターから第2クォーターにかけて、「実践的データ分析・統計概論（本学開講）」、「データ分析のための情報統計学（JAIST 開講）」を設け、1年次の必修科目（いずれかの大学開講分を履修）とする。なお、本科目は、“科学を融合する方法論”の基礎となる「4つのフォース（力）」のうち、主に「Force 1：データ解析する『力』」及び「Force 3：可視化する『力』」を醸成する科目として配置している。

【基幹教育科目の必修要件】

※ 以下の要件を同時に満たし、この科目区分から4単位以上修得すること。

(1) 本学の学生は、必ず「研究者倫理（本学開講）」の1単位を修得すること。

(2) 以下の科目から1単位以上修得すること。

「起業家の中核技術と戦略（本学開講）」①

「起業家への道（本学開講）」①

「人間カイノベーション論（JAIST 開講）」①

「創出カイノベーション論（JAIST 開講）」①

(3) 以下の科目のいずれかを修得すること。

「実践的データ分析・統計概論（本学開講）」②

「データ分析のための情報統計学（JAIST 開講）」②

3.2 異分野「超」体験科目

1年次の8月に「異分野『超』体験セッションⅠ」②を、1年次の第3クォーターから第4クォーターにかけて「異分野『超』体験実践Ⅰa」①、「異分野『超』体験実践Ⅰb」①を両大学にそれぞれ設け、必修科目とする。

なお、2019年度の「異分野『超』体験セッションⅠ」は8月8日・9日及び13日に開講する。

「異分野『超』体験セッションⅠ」は、両大学共同開講の形態を取り、両大学の全専任教員による研究内容の紹介や、学生間での相互の研究内容の紹介、2年生の修士論文中間発表会への参加を通して、既存の学問領域・研究分野にとらわれず、異なる分野の知見や方法論を取り入れるとともに、自身の研究課題の位置付けや意義などに関して理解を深める。なお、本科目は、“科学を融合する方法論”の基礎となる「4つのフォース（力）」のうち、主に「Force 2：モデル化する『力』」を醸成する科目として配置している。

「異分野『超』体験実践Ⅰa」及び「異分野『超』体験実践Ⅰb」では、学生自身の専門分野と異なる研究室（ラボ）に2週間以上滞在し、実際に実験的・理論的研究を行い、自らの専門を「超」えた幅広い知識やスキルを得ながら、異なる分野における研究手法や発想を実践的に学ぶ。これらにより、異なる知見や観点から新たなアイデアを得るとともに、自らが取り組もうとしている課題を客観的に捉える基本的なマインドを養うことで融合研究の可能性を模索する。

「異分野『超』体験実践 Ia」、「異分野『超』体験実践 Ib」は、開講大学（滞在する研究室の大学）に応じ、以下の4科目を設ける。

「異分野『超』体験実践 Ia（金沢）」①

「異分野『超』体験実践 Ib（金沢）」①

「異分野『超』体験実践 Ia（JAIST）」①

「異分野『超』体験実践 Ib（JAIST）」①

このうち、「異分野『超』体験実践 Ia（JAIST）」①、「異分野『超』体験実践 Ib（JAIST）」①から1単位以上修得し、合計2単位以上を修得することを修了要件として課している。したがって、学生は必ず、JAISTの研究室を含めた2つ以上の研究室（ラボ）をローテーションする。滞在する研究室については、「異分野『超』体験セッション I」での学修内容を踏まえ、学生各個人が、自らの主任研究指導教員とよく相談し、決定する。なお、本科目は、“科学を融合する方法論”の基礎となる「4つのフォース（力）」のうち、主に「Force 4：デザインする『力』」を醸成する科目として配置している。

【異分野「超」体験科目の必修要件】

※ 以下の要件を同時に満たし、4単位以上修得すること。

(1) 「異分野『超』体験セッション I」の2単位を修得すること。

共同開講であるため、この2単位については、金沢大学開講分1単位、JAIST開講分1単位としてカウントする。

(2) 以下の科目から少なくとも（JAIST）☆のいずれか1単位以上を含め、2単位以上修得すること。

「異分野『超』体験実践 Ia（金沢）」①

「異分野『超』体験実践 Ib（金沢）」①

「異分野『超』体験実践 Ia（JAIST）」☆①

「異分野『超』体験実践 Ib（JAIST）」☆①

3.3 社会実装科目

「インターンシップ」②を設け、必修科目とする。これまで醸成してきた「4つのフォース（力）」を基盤としながら、研究シーズが実際の企業現場においてどのようにビジネスとして成立しているのか、またどのようにイノベーションに結びついているのかについて実地学修を中心に学ぶ。

学生は、必要に応じて主任研究指導教員や就職支援室へ相談の上、インターンシップ先（国内外の民間企業、公的研究機関、大学等）を決定し、インターンシップ開始の1週間前までに新学術創成研究科係へ届出を行うこと。なお、インターンシップは1か所において2週間以上の実習を標準とするが、やむを得ず、1週間の実習を2か所に分けて行う場合や、インターンシップに代えて海外留学する場合等は、予め新学術創成研究科係に相談すること。また、実習後は報告書を作成し、主任研究指導教員へ成果を報告すること。（P23の8 参照）

インターンシップに関する各種様式は、研究科 Web サイト「在学生へ」のページからダウンロードできる。

【社会実装科目の必修要件】

・「インターンシップ（金沢）」の2単位を修得すること。

3.4 専門科目

1年次から2年次にかけて、修得した基礎知識・技術等を基に、自身の研究課題に応じた専門的知見を養うための「専門科目」を設け、10単位以上（「博士研究計画調査」選択者は、12単位以上）必修の選択必修科目とする。

「専門科目」は、共通科目、生命科学系科目、材料科学系科目、社会システム科学系科目の4つに区分してい

る。この科目区分に基づき、学生は3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）に応じて、主任研究指導教員の指導を受けながら、以下の科目区分を中心として、必ず2つ以上の科目区分から履修する。これにより、専門的知見の先鋭化に加え、複数の科学分野の融合を実現する。

I：ライフイノベーション選択者：生命科学系科目

II：グリーンイノベーション選択者：材料科学系科目

III：システムイノベーション選択者：社会システム科学系科目あるいは材料科学系科目

【専門科目の必修要件】

※ 以下の要件を同時に満たしていること。

- (1) 研究取りまとめの方法として「修士論文研究」又は「課題研究」を選択した者は、「専門科目」から10単位以上修得すること。また、「博士研究計画調査」を選択した者は、「専門科目」から12単位以上修得すること。
- (2) 主任研究指導教員と十分に相談した上で、選択した3つの挑戦的なイノベーションの枠組み（3つのチャレンジ）に応じて、共通科目、生命科学系科目、材料科学系科目及び社会システム科学系科目のうち、必ず2つ以上の科目区分から修得すること。

3.5 研究支援科目

1年次の後半から2年次において、副主任研究指導教員からの教育・指導を受け、後述する中間発表会において研究成果を発表する「ゼミナール・演習Ⅰ」②を設ける。

また、最終的な研究取りまとめのアプローチを支援する科目として、「融合科学研究論文Ⅰ」⑥、「融合科学課題研究」②、「融合科学博士研究計画調査」②を設け、いずれかを選択する選択必修科目として位置付け、主任研究指導教員からの教育・指導を受ける。最終的な研究取りまとめの方法については、各学生が自らの研究課題のアイディアを基に主任研究指導教員と相談し、下記の(1)～(3)から選択する。学生は、これまで醸成してきた「4つのフォース（力）」を集約・昇華するとともに、十分に培われた専門的知見を基に、自らの研究課題について取り組む。

【研究とりまとめの方法と選択科目】

(1) 「修士論文」

社会的課題の解決に資するため、仮説を立て、それを検証する研究テーマを設定した者が選択し、論文形式として取りまとめる。

選択科目：「融合科学研究論文Ⅰ」⑥

(2) 「課題研究」

社会的課題の解決に資するため、先行研究を含めた幅広い事実やデータに基づき、事象の相関関係や因果関係を導出し、新たな事実をデザインする研究テーマを設定した者が選択する。

選択科目：「融合科学課題研究」②

(3) 「博士研究計画調査」

博士後期課程に進学する者が選択する。博士後期課程における研究テーマに繋がるものであることが必須であり、その成果は博士研究計画調査報告書として取りまとめる。

選択科目：「融合科学博士研究計画調査」②

【研究支援科目の必修要件】

※ 選択した研究取りまとめの方法ごとに、それぞれの要件を全て満たしていること。

- (1) 「修士論文」選択者
 - ・「融合科学研究論文 I (金沢)」6 単位及び「ゼミナール・演習 I (JAIST)」2 単位を修得すること。
- (2) 「課題研究」選択者
 - ・「融合科学課題研究 (金沢)」2 単位及び「ゼミナール・演習 I (JAIST)」2 単位を修得すること。
 - ・主任研究指導教員と十分に相談した上で、3.1 から 3.4 までの必修要件を満たした上で、「異分野『超』体験科目」、「社会実装科目」及び「専門科目」の中から 20 単位以上修得すること。
- (3) 「博士研究計画調査」選択者
 - ・「融合科学博士研究計画調査 (金沢)」2 単位及び「ゼミナール・演習 I (JAIST)」2 単位を修得すること。
 - ・主任研究指導教員と十分に相談した上で、3.1 から 3.4 までの必修要件を満たした上で、「異分野『超』体験科目」、「社会実装科目」及び「専門科目」の中から 22 単位以上修得すること。

4 修了要件

以下に示す要件を全て満たしていることが修了に必要なこと。なお、修了要件を満たしているか否かの確認は、指導教員と相談の上、各自責任を持って行うこと。

- (1) 原則として修士課程に 2 年以上在学すること。
- (2) 必要な研究指導を受けた上で、修士論文研究又は課題研究選択者は、修士論文又は課題研究報告書を提出し、その審査及び最終試験に合格すること。博士研究計画調査選択者は、博士研究計画調査報告書を提出し、博士論文研究基礎力審査に合格すること。
- (3) JAIST の開講科目から計 10 単位以上を修得すること。なお、3.2 及び 3.5 において、JAIST の必修科目 (計 4 単位) が以下のとおり定められているため、残り 6 単位以上を JAIST の開講科目から修得することが必要となる。(以下、●内の数字は JAIST の単位として修得できる単位数)
 - ・異分野『超』体験科目
 - 「異分野『超』体験セッション I」●1 (2 単位中 1 単位を JAIST 修得単位としてカウントする。)
 - 「異分野『超』体験実践 Ia (JAIST)」●1 又は「異分野『超』体験実践 Ib (JAIST)」●1
 - ・研究支援科目
 - 「ゼミナール・演習 I (JAIST)」●2
- (4) 上述の 3.1 から 3.5 の必修要件を満たして認定を受けた単位を含めて、計 32 単位以上を修得すること。ただし、研究取りまとめの方法として「博士研究計画調査」を選択した者は、計 34 単位以上を修得すること。
- (5) 本学及び JAIST の他専攻で開講される科目についても、「自由履修科目」として 4 単位まで修了要件に含めることができる。例えば、自分の主任研究指導教員が本学の他研究科向けに開講している科目の単位を修得した場合、4 単位までであれば修了要件に含めることができる。ただし、本学開講の科目については、修士課程もしくは博士前期課程の科目かつ当該研究科が履修を許可した科目に限る。また、JAIST 開講の科目については、先端科学技術専攻の K・I・M・Nxxx の科目群に限る。なお、自由履修科目として履修した JAIST の科目は、(3) の 10 単位には算入できないため、注意すること。
- (6) 入学前に他大学院で修得した単位の認定 (ただし、本学開講の共同専攻専門科目の範囲内に限る。) 及び他大学院での履修は、研究科会議が認めた場合、4 単位まで修了要件に含めることができる。
- (7) 本学では英語能力強化の一環として、修士課程 (博士前期課程) に入学した学生は、原則全員が、英語の外部検定試験を受験することとしている。学位申請の 2 か月前までに英語の外部検定試験のスコアの控えを新学術創成研究科係へ提出すること。なお、本研究科で対象とする外部検定試験は、TOEIC 公開テスト、TOEIC-IP、TOEFL、IELTS、GTEC とする。

5 履修モデル

モデル A (システムイノベーションの学生が修士論文を選択した場合)

選択方法	区分	授業科目の名称	開講時期	単位	
				金大	JAIST
① まずは必修科目を中心に基幹教育科目を4単位分抑える！	基幹教育科目	研究者倫理（必修）	Q1・金4	1	
		起業家の中核技術と戦略	Q2・火6	1	
		実践的データ分析・統計概論（選択必修）	前期・月5	2	
		小計		4	
② こちらも必修科目を中心に異分野「超」体験科目を4単位分抑える！（「実践」は少なくとも1つはJAISTへ）	異分野科目「超」	異分野「超」体験セッションⅠ（必修）	1年次夏季集中	1	1
		異分野「超」体験実践Ⅰa（JAIST）	1年次後期		1
		異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）	1年次後期	1	
		小計		2	2
③ 社会実装科目は無条件にこれのみ（ただし、自然科学研究科の「創成研究Ⅱ」の読替可）	装社科目実	インターンシップ（金沢）	学期休み期間	2	
		小計		2	
④ 専門科目のお薦めの選択方法は、まずできるだけJAISTの火曜（木曜とペア）の科目から3科目（6単位）を選ぶ！⇒落とさなければ、これでJAISTの科目10単位積み上げ完了！このモデルならQ2はJAISTへ通学しなくてよい	専門科目	システム最適化（社会システム科学系）	Q1・火1/木2		2
		ネットワーク科学論（社会システム科学系）	Q1・火2/木1		2
		実験哲学概論（共通）	Q1・火4/木4		2
		データマイニング論（共通）	前期・月1	2	
⑤ あとは、本学の専門科目のJAISTの科目と時限が重ならない科目から、2つ以上の科目区分にまたがるように、8単位分選択する！（4単位までは、他の専攻の科目も修了要件に加算できる。ただし、本学のクォーターの1単位科目であれば、2クォーター分履修すること！）	専門科目	バイオメカニクス工学特論Ⅰ（材料科学系）	後期・火2	2	
		認知行動融合科学基礎論（社会システム科学系）	後期・木3	2	
		自由履修（他専攻）科目		2	
		小計		8	6
⑥ 研究支援科目については、修士論文での修了を選択した場合は、このパターンのみ	研究科目支援	ゼミナール・演習Ⅰ（JAIST）	1年次後期～		2
		融合科学研究論文Ⅰ（金沢）	2年次	6	
		小計		6	2
合計				32	

JAIST計	:	10
--------	---	----

モデル B (グリーンイノベーションの学生が修士論文を選択した場合)

選択方法	区分	授業科目の名称	開講時期	単位	
				金大	JAIST
① まずは必修科目を中心に基幹教育科目を4単位分抑える！	基幹教育科目	研究者倫理（必修）	Q1・金4	1	
		起業家への道	Q1・月6	1	
		実践的データ分析・統計概論（選択必修）	前期・月5	2	
		小計		4	
② こちらも必修科目を中心に異分野「超」体験科目を4単位分抑える！（「実践」は少なくとも1つはJAISTへ）	異分野「超」体験科目	異分野「超」体験セッションⅠ（必修）	1年次夏季集中	1	1
		異分野「超」体験実践Ⅰa（JAIST）	1年次後期		1
		異分野「超」体験実践Ⅰb（金沢）	1年次後期	1	
		小計		2	2
③ 社会実装科目は無条件にこれのみ（ただし、自然科学研究科の「創成研究Ⅱ」の読替可）	装社科目実	インターンシップ（金沢）※「創成研究Ⅱ」を読替	後期集中	2	
		小計		2	
④ 専門科目のお薦めの選択方法は、まずできるだけJAISTの火曜（木曜とペア）の科目や遠隔配信される科目から3科目（6単位）を選ぶ！⇒落とさなければ、これでJAISTの科目10単位積み上げ完了！このモデルならQ1はJAISTへ通学しなくてよい	専門科目	認知科学概論（共通）	Q2・火1/木2		2
		高分子化学特論Ⅰ（材料科学系）	Q2・火2/木1		2
		機器分析化学特論【遠隔受信】（材料科学系）	Q2・水1/金2		2
		物性物理化学特論Ⅰ（材料科学系）	前期・月3	2	
⑤ あとは、本学の専門科目のJAISTの科目と時限が重ならない科目から、2つ以上の科目区分にまたがるように、8単位分選択する！（4単位までは、他の専攻の科目も修了要件に加算できる。ただし、本学のクォーターの1単位科目であれば、2クォーター分履修すること！）また、③で「創成研究Ⅱ」を「インターンシップ（金沢）」へ読み替える場合は必ず「創成研究Ⅰ」も履修すること！	専門科目	考古学と自然科学（社会システム）	後期・水5	2	
		創成研究Ⅰ（自由履修科目）	前期・水6	2	
		自由履修（他専攻）科目		2	
		小計		8	6
		⑥ 研究支援科目については、修士論文での修了を選択した場合は、このパターンのみ	研究科目支援	ゼミナール・演習Ⅰ（JAIST）	1年次後期～
融合科学研究論文Ⅰ（金沢）	2年次	6			
小計		6		2	
合計				32	
JAIST計				10	

6 2019 年度 時間割表

【金沢大学時間割】Q1・Q2

【色区分】

基幹教育科目
 共通科目
 生命科学系科目
 材料科学系科目
 社会システム科学系科目

第1クォーター

	1限(8:45-10:15)	2限(10:30-12:00)	3限(13:00-14:30)	4限(14:45-16:15)	5限(16:30-18:00)	6限(18:15-19:45)
	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室
月	15302 データマイニング論 南保 自然科学本館108	15303 生命情報と先端バイオ 佐藤(賢) 自然科学本館201	15307 通信工学特論 笠原 自然科学本館204	15512 デバイスプロセス工学 川江 自然科学本館204	15004 実践的データ分析・ 統計概論 飯山 他 自然科学本館301	15001 起業家への道 オムニバス 自然科学大講義棟AV講義室
火	15406【遠隔配信】 ヒューマンポディー:機能 佐藤(純) 他 医学部F棟修士課程セミナー室 (宝町キャンパス) 15509 機能性高分子材料化学 山岸 他 自然科学本館301	15410 創薬分子プローブ概論 I 小川 他 自然科学本館302	15507 物性物理化学特論 I 水野 自然科学5号館第5講義室	15607 運動生理学概論 増田 人間社会第2講義棟303講義室		15405 日和見感染症とテック・ バイオイノベーション 須釜 他 自然科学本館301
水	15401 がんの生命科学 I 鈴木(健)・後藤(典) 他 がん研418 15504 エネルギー・環境 プログラム序論 富澤 他 自然科学本館207	15513 固体物性評価基礎論 森本 自然科学本館102	15501 光波工学 飯山 他 自然科学本館302			
木	15404 生物・分子物理学 柴田(幹) 他 自然科学5号館物理化学講義室 15508 高分子材料合成化学 前田 他 自然科学本館301				15407【遠隔配信】 ヒューマンポディー:構造 堀 他 医学部F棟修士課程セミナー室 (宝町キャンパス) 15605 文化資源学概論 河合 他 人間社会第1講義棟303講義室	15406【遠隔配信】 ヒューマンポディー:疾患 原田 他 医学部F棟修士課程セミナー室 (宝町キャンパス)
金				15003 研究者倫理 垣内 自然科学図書館大会議室		

※「固体物性評価基礎論」は、Q1とQ2とで担当教員・講義室・曜日時限が異なるため注意してください。Q1とQ2の両方を履修する必要があります。

第2クォーター

	1限(8:45-10:15)	2限(10:30-12:00)	3限(13:00-14:30)	4限(14:45-16:15)	5限(16:30-18:00)	6限(18:15-19:45)
	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室
月	15302 データマイニング論 南保 自然科学本館108	15303 生命情報と先端バイオ 佐藤(賢) 自然科学本館201	15307 通信工学特論 笠原 自然科学本館204	15512 デバイスプロセス工学 川江 自然科学本館204	15004 実践的データ分析・ 統計概論 飯山 他 自然科学本館301	15405 日和見感染症とテック・ バイオイノベーション 須釜 他 自然科学本館301
火	15406【遠隔配信】 ヒューマンポディー:機能 佐藤(純) 他 医学部F棟修士課程セミナー室 (宝町キャンパス) 15509 機能性高分子材料化学 山岸 他 自然科学本館301		15507 物性物理化学特論 I 水野 自然科学5号館第5講義室	15603 文明学特論 中村(慎) 人間社会1号館502演習室		15002 起業家の中核技術と戦略 オムニバス 自然科学大講義棟AV講義室
水	15401 がんの生命科学 I 鈴木(健)・後藤(典) 他 がん研418 15505 マテリアルプログラム序論 山岸 他 自然科学本館207		15501 光波工学 飯山 他 自然科学本館302			15406【遠隔配信】 ヒューマンポディー:疾患 原田 他 医学部F棟修士課程セミナー室 (宝町キャンパス)
木	15404 生物・分子物理学 柴田(幹) 他 自然科学5号館物理化学講義室 15508 高分子材料合成化学 前田 他 自然科学本館301				15407【遠隔配信】 ヒューマンポディー:構造 堀 他 医学部F棟修士課程セミナー室 (宝町キャンパス) 15605 文化資源学概論 河合 他 人間社会第1講義棟303講義室	
金		15513 固体物性評価基礎論 猪熊 自然科学本館301				

※「固体物性評価基礎論」は、Q1とQ2とで担当教員・講義室・曜日時限が異なるため注意してください。Q1とQ2の両方を履修する必要があります。

※集中講義「異分野[超]体験セッション I」 8/8, 8, 13

【金沢大学時間割】Q3・Q4

第3クォーター

	1限(8:45-10:15)	2限(10:30-12:00)	3限(13:00-14:30)	4限(14:45-16:15)	5限(16:30-18:00)	6限(18:15-19:45)
	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室
月			15606 比較認知概論 谷内 人間社会第1講義棟305演習室			
火		15503 バイオメカニクス 工学特論Ⅰ 坂本 自然科学本部210 15604 臨床神経心理学Ⅰ 松井 人間社会第1講義棟308演習室				
水		15510【演習施設】 バイオリファイナー 工学特論Ⅰ 仁宮 自然科学本部遠隔講義室			15601 考古学と自然科学 河合 他 人間社会第1講義棟305演習室	
木	15402 がんの生命科学Ⅱ 高橋(智)・松本(邦) 他 がん研412		15602 認知行動融合科学基礎論 小島 人間社会第1講義棟312講義室			
金		15209 アレイ信号処理特論 三好 自然科学本部202 15403 生体分子ダイナミクス 栗田(幹) 他 ナノ生命科学研究所棟7セミナー室 15506 太陽電池工学特論Ⅰ 富樫 他 自然科学本部304 15511 表面・界面工学特論Ⅰ 徳田 自然科学本部204	15201 分散並列リアルタイム システム構成論 山根 自然科学本部206 15304 映像情報処理学 今村 自然科学本部204		15205 衛星測位工学 後藤(由) 自然科学本部108 15502 知的自律移動ロボット 工学特論Ⅰ 菅沼 他 自然科学本部209	

第4クォーター

	1限(8:45-10:15)	2限(10:30-12:00)	3限(13:00-14:30)	4限(14:45-16:15)	5限(16:30-18:00)	6限(18:15-19:45)
	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室	科目コード 科目名 担当教員 講義室
月			15606 比較認知概論 谷内 人間社会第1講義棟305演習室			
火		15411 創薬分子プローブ概論Ⅱ 小川 他 自然科学本部305 15503 バイオメカニクス 工学特論Ⅰ 坂本 自然科学本部210 15604 臨床神経心理学Ⅰ 松井 人間社会第1講義棟308演習室				
水		15510【演習施設】 バイオリファイナー 工学特論Ⅰ 仁宮 自然科学本部遠隔講義室			15601 考古学と自然科学 河合 他 人間社会第1講義棟305演習室	
木	15402 がんの生命科学Ⅱ 高橋(智)・松本(邦) 他 がん研412		15602 認知行動融合科学基礎論 小島 人間社会第1講義棟312講義室			
金		15209 アレイ信号処理特論 三好 自然科学本部202 15403 生体分子ダイナミクス 栗田(幹) 他 ナノ生命科学研究所棟7セミナー室 15506 太陽電池工学特論Ⅰ 富樫 他 自然科学本部304 15511 表面・界面工学特論Ⅰ 徳田 自然科学本部204	15201 分散並列リアルタイム システム構成論 山根 自然科学本部206 15304 映像情報処理学 今村 自然科学本部204		15205 衛星測位工学 後藤(由) 自然科学本部108 15502 知的自律移動ロボット 工学特論Ⅰ 菅沼 他 自然科学本部209	

2019年度授業時間割 (JAIST)

1の1期：授業期間4月12日～6月7日
定期試験期間6月10日～6月12日

振替授業 6月7日(金)：月曜時間割

	1 9:00～10:40	2 10:50～12:30	3	4 15:20～17:00
月	K211 社会科学方法論(数田・坂村) K3・4講			
	I235 ゲーム情報学特論(池田(心)・飯田) 大講義室	I225E 統計的信号処理特論(田中(宏)) 【遠隔配信】 I3・4講 I233 オペレーティングシステム特論(篠田) I2講		
	M245 応用物性数学特論(大平) M1・2講	M221 有機分子化学特論(松見) 小ホール		
火	K211E 社会科学方法論(Kim) K1・2講	K487 ネットワーク科学論(林(幸)) 中講義室		K238 実験哲学概論(水本) 中講義室
	K471 メディア創造論(宮田・謝) 中講義室			
	I119 データ分析のための情報統計学(赤木) 大講義室	I111 アルゴリズムとデータ構造(池田(心)) 大講義室		
	I121 情報代数(小川) I2講	I237 形式言語とオートマトン(東条) I1講		
	I212 情報解析学特論(小谷) I1講	I238 計算論(上原) I3・4講		
	I214 システム最適化(金子(峰)・平石) I3・4講			
水	M113 生物機能概論(高木・下川) 小ホール	M111 材料物理概論(堀田) M1・2講 M213 応用電磁気学特論(富取) 小ホール		M231 生物有機化学特論(藤本・芳坂) 小ホール
		K211 社会科学方法論(数田・坂村) K3・4講		
	I211E 数理論理学(石原・根元) 大講義室	I235 ゲーム情報学特論(池田(心)・飯田) 大講義室		
木	M112 材料化学概論(谷池・松村) 小ホール M251 触媒化学特論(西村) M3講	M245 応用物性数学特論(大平) M1・2講		
	K487 ネットワーク科学論(林(幸)) 中講義室	K211E 社会科学方法論(Kim) K1・2講 K471 メディア創造論(宮田・謝) 中講義室		K238 実験哲学概論(水本) 中講義室
	I111 アルゴリズムとデータ構造(池田(心)) 大講義室	I119 データ分析のための情報統計学(赤木) 大講義室		
	I237 形式言語とオートマトン(東条) I1講	I121 情報代数(小川) I2講		
	I238 計算論(上原) I3・4講	I212 情報解析学特論(小谷) I1講 I214 システム最適化(金子(峰)・平石) I3・4講		
	M111 材料物理概論(堀田) M1・2講 M213 応用電磁気学特論(富取) 小ホール	M113 生物機能概論(高木・下川) 小ホール		M231 生物有機化学特論(藤本・芳坂) 小ホール
金				S101 人間カインバージョン論(神田ほか) S102 創出カインバージョン論(神田ほか) ※ S102はS101の7回の講義終了後に開講します。 ※ S101・S102は4～5限連続の講義です。
	I225E 統計的信号処理特論(田中(宏)) 【遠隔配信】 I3・4講 I233 オペレーティングシステム特論(篠田) I2講	I211E 数理論理学(石原・根元) 大講義室		
	M221 有機分子化学特論(松見) 小ホール	M112 材料化学概論(谷池・松村) 小ホール M251 触媒化学特論(西村) M3講		

チャートリアルタワー (13:30～15:10)

【遠隔配信にあたっての注意事項】

- I225E 統計的信号処理特論(田中(宏))
- ・本講義は英語で実施します。
- ・定期試験は6/10(月)の2限に本学で実施する予定です。
- ・定期試験の他に中間試験も本学で実施する予定です。

1の2期：授業期間6月17日～8月5日
定期試験期間8月6日、8月7日

	1 9:00～10:40	2 10:50～12:30	3	4 15:20～17:00
月	M211 量子力学特論（村田） 小ホール M224 無機材料化学特論（前之園） M3講			
火	K121 認知科学概論（日高・鳥居） 中講義室 K214 知識メディア方法論（由井蘭） K3・4講 I116 プログラミング基礎（廣川） 大講義室 I219 ソフトウェア設計論（青木・河井） I3・4講 I223E 自然言語処理論 I（Nguyen） I1講 M262 生体材料分析特論（高村（禪）） 小ホール	K236EJ データ分析学基礎（Dam） K3・4講 K473 イノベーション・マネジメント論（内平） 中講義室 I213 離散信号処理特論（浅野） I3・4講 I218E 計算機アーキテクチャ特論（井口） I1講 I419 画像情報処理特論（古高） I2講 M243 固体物理学特論 I（高村（由）） M1・2講 M254 高分子化学特論 I（金子（達）） 小ホール	チュートリアルアワー（13:30～15:10）	M232 生物物理化学特論（濱田） 小ホール
水	M225 機器分析化学特論（篠原）【遠隔配信】 小ホール	M211 量子力学特論（村田） 小ホール M224 無機材料化学特論（前之園） M3講		
木	K236EJ データ分析学基礎（Dam） K3・4講 K473 イノベーション・マネジメント論（内平） 中講義室 I213 離散信号処理特論（浅野） I3・4講 I218E 計算機アーキテクチャ特論（井口） I1講 I419 画像情報処理特論（古高） I2講 M243 固体物理学特論 I（高村（由）） M1・2講 M254 高分子化学特論 I（金子（達）） 小ホール	K121 認知科学概論（日高・鳥居） 中講義室 K214 知識メディア方法論（由井蘭） K3・4講 I116 プログラミング基礎（廣川） 大講義室 I219 ソフトウェア設計論（青木・河井） I3・4講 I223E 自然言語処理論 I（Nguyen） I1講 M262 生体材料分析特論（高村（禪）） 小ホール		M232 生物物理化学特論（濱田） 小ホール
金		M225 機器分析化学特論（篠原）【遠隔配信】 小ホール		

【遠隔配信にあたっての注意事項】

M225 機器分析化学特論（篠原）

- ・定期試験は8/7(水)の1限に本学で実施する予定です。
- ・基本的にシラバスに記載した書籍を教科書として授業を進めますが、後半の一部に、配布プリントを教科書として進める回があります。

2の1期：授業期間10月10日～12月2日
定期試験期間12月3日～12月5日

振替授業 11月28日(木)：月曜時間割
11月29日(金)：火曜時間割

	1 9:00～10:40	2 10:50～12:30	3	4 15:20～17:00
月	J111E アルゴリズムとデータ構造 (上原・Viglietta) M211 量子力学特論 (岩崎)			
火	K417EJ データ分析学 (Ho(Bao)・Dam) K479 サービス経営論 (白肌) J211 数理論理学 (横山) J214E システム最適化 (金子(峰)・平石) J237E 形式言語とオートマトン (小川) M261 生体分子機能特論 (筒井(秀)) M273EJ メカトロニクス (Ho(Anh))	K238E 実験哲学概論 (水本) K421 システム思考論 (林(幸)) J223 自然言語処理論 I (白井) J233E オペレーティングシステム特論 (Beuran) J235E ゲーム情報学特論 (飯田・Khalid) M245 応用物性数学特論 (水田) M223 有機材料物性特論 (長尾・松見)	チュートリアルアワー (13:30～15:10)	M231 生物有機化学特論 (藤本・芳坂)
水	J212E 情報解析学特論 (党) J225 統計的信号処理特論 (鷗木) M111E 材料物理概論 (水谷)	J111E アルゴリズムとデータ構造 (上原・Viglietta) M211 量子力学特論 (岩崎)		
木	K238E 実験哲学概論 (水本) K421 システム思考論 (林(幸)) J223 自然言語処理論 I (白井) J233E オペレーティングシステム特論 (Beuran) J235E ゲーム情報学特論 (飯田・Khalid) M245 応用物性数学特論 (水田) M223 有機材料物性特論 (長尾・松見)	K417EJ データ分析学 (Ho(Bao)・Dam) K479 サービス経営論 (白肌) J211 数理論理学 (横山) J214E システム最適化 (金子(峰)・平石) J237E 形式言語とオートマトン (小川) M261 生体分子機能特論 (筒井(秀)) M273EJ メカトロニクス (Ho(Anh))		M231 生物有機化学特論 (藤本・芳坂)
金		J212E 情報解析学特論 (党) J225 統計的信号処理特論 (鷗木) M111E 材料物理概論 (水谷)		S101 人間カイノバージョン論 (神田ほか) S102 創出カイノバージョン論 (神田ほか) ※ S102はS101の7回の講義終了後に開講します。 ※ S101・S102は4～5限連続の講義です。

2の2期：授業期間1 2月9日～2月5日
定期試験期間2月6日、2月7日

振替授業 2月4日(火)：木曜時間割
2月5日(水)：金曜時間割

	1 9:00～10:40	2 10:50～12:30	3	4 15:20～17:00
月				
火	K214E 知識メディア方法論 (金井) I213E 離散信号処理特論 (Chong) I219E ソフトウェア設計論 (緒方) M212 統計力学特論 (小矢野)	K464EJ 認知科学 (藤波・日高・鳥居) I218 計算機アーキテクチャ特論 (田中(清)) I238E 計算論 (石原) M222 物質計算科学特論 (谷池・Dam・宮田(全))	チュートリアルアフター (13:30～15:10)	M414 デバイス物理特論 (徳光) M415 医用生体材料特論 (塚原)
水	M420 固体物理学特論Ⅱ (赤堀)			
木	K464EJ 認知科学 (藤波・日高・鳥居) I218 計算機アーキテクチャ特論 (田中(清)) I238E 計算論 (石原) M222 物質計算科学特論 (谷池・Dam・宮田(全))	K214E 知識メディア方法論 (金井) I213E 離散信号処理特論 (Chong) I219E ソフトウェア設計論 (緒方) M212 統計力学特論 (小矢野)		M414 デバイス物理特論 (徳光) M415 医用生体材料特論 (塚原)
金		M420 固体物理学特論Ⅱ (赤堀)		

2019 年度 JAIST 定期試験日時

【1の1期】

	1 限 9:00-10:40	2 限 10:50-12:30	3 限 13:30-15:10	4 限 15:20-17:00	5 限 17:10-18:50
6/10(月)	月曜 1 限の 試験	月曜 2 限の 試験	水曜 1 限の 試験	月曜 4 限の 試験	月曜 5 限の 試験
6/11(火)	火曜 1 限の 試験	火曜 2 限の 試験		火曜 4 限の 試験	火曜 5 限の 試験
6/12(水)	S102「創出カイノーション論」、S503「人間力・創出カイノーション論」の補講及び最終試験（発表会）				

【1の2期】

	1 限 9:00-10:40	2 限 10:50-12:30	3 限 13:30-15:10	4 限 15:20-17:00	5 限 17:10-18:50
8/6(火)	火曜 1 限の 試験	火曜 2 限の 試験		火曜 4 限の 試験	火曜 5 限の 試験
8/7(水)	水曜 1 限の 試験	月曜 1 限の 試験	月曜 2 限の 試験	月曜 4 限の 試験	月曜 5 限の 試験

【2の1期】

	1 限 9:00-10:40	2 限 10:50-12:30	3 限 13:30-15:10	4 限 15:20-17:00	5 限 17:10-18:50
12/3(火)	火曜 1 限の 試験	火曜 2 限の 試験		火曜 4 限の 試験	火曜 5 限の 試験
12/4(水)	水曜 1 限の 試験	月曜 1 限の 試験	月曜 2 限の 試験	月曜 4 限の 試験	月曜 5 限の 試験
12/5(木)	S102「創出カイノーション論」、S503「人間力・創出カイノーション論」の補講及び最終試験（発表会）				

【2の2期】

	1 限 9:00-10:40	2 限 10:50-12:30	3 限 13:30-15:10	4 限 15:20-17:00	5 限 17:10-18:50
2/6(木)	火曜 2 限の 試験	火曜 1 限の 試験		火曜 4 限の 試験	火曜 5 限の 試験
2/7(金)	月曜 2 限の 試験	水曜 1 限の 試験	月曜 1 限の 試験	月曜 4 限の 試験	月曜 5 限の 試験

JAIST 開講科目のナンバリングについて

JAIST の科目番号の頭文字の記号は JAIST 独自の区分を示しており、K を知識科学系科目、I を情報科学系科目、M をマテリアルサイエンス系科目としている。

また、科目番号の 3 桁の数字は授業のレベルを示しており、100 番台を導入的科目、200 番台を基幹的科目、400 番台を展開的科目としている。

なお、英語で実施する授業は科目番号の後ろに E を、英日併用で行われる授業は EJ を付して、使用言語を表している。

K	知識科学系科目	100 番台	導入的科目	(空欄)	日本語
I	情報科学系科目	200 番台	基幹的科目	E	英語
M	マテリアルサイエンス系科目	400 番台	展開的科目	EJ	日英併用

7 履修登録・成績通知等

7.1 履修登録

本学開講の授業科目の履修登録は、Web（P29 アカサスポータル 参照）を利用して行う。詳細は大学院便覧を参照すること。「異分野『超』体験セッションⅠ」や「インターンシップ（金沢）」等の必修科目についても忘れずに履修登録すること。

JAIST 開講の授業科目の履修登録は、新学術創成研究科係からの通知メールに添付する「**履修登録票**」に必要事項を入力の上、メール添付にて新学術創成研究科係宛てに提出すること。

両大学分ともに、本研究科が指定する期日までに1年分の履修登録を完了すること。なお、本学開講科目後期（Q3・Q4）分及びJAIST 開講科目1の2期から2の2期分の変更については、本研究科が指定した期間にのみ受け付ける。詳細については追って通知する。

「**自由履修科目**」として、本共同専攻の開講科目以外（本学及びJAISTの他専攻）の科目の履修を希望する場合は、新学術創成研究科係からの通知メールに添付する「**他専攻授業科目履修願**」に必要事項を記入し、授業担当教員及び主任研究指導教員の押印を受けた上、本研究科が指定した期間（前期・後期の計2回）に新学術創成研究科係まで提出すること。

7.2 成績通知

成績は両大学の開講科目ともWeb（P29 アカサスポータル 参照）により通知する。

7.3 シラバス

シラバスは両大学のWebサイト及び新学術創成研究科Webサイト（トップページ→在学生へ）にて公開する。

8 インターンシップ

8.1 授業科目

「インターンシップ（金沢）」②（本学学生必修科目）

8.2 実習内容

- ・実際の現場において就労を体験する、もしくは、特定の課題を設定し、課題解決に取り組む。
- ・単なる施設見学や企業説明会は授業科目の「インターンシップ（金沢）」としては認めない。また、本科目の趣旨と合わない場合は、単位認定しないことがある。

8.3 実習時期

- ・特に定めないが、1年次の学期休み期間中（特に夏休み期間）を推奨する。
- ・遅くとも2年次の学位申請の2か月前には終了し、報告書を提出していること。

8.4 実習日数

- ・原則、1か所において2週間（1日8時間×実労働10日＝80時間）以上。
- ・1か所であれば、週2日×5週間、週1日×10週間など長期に渡っても構わない。
- ・やむを得ず、1週間×2か所となる場合でも認められることがあるため、事前に新学術創成研究科係へ相談すること。（1週間未満×3か所以上などの組み合わせはできない。）
- ・移動日等、実習を行わない日は実習日数に含まない。

8.5 実習先

- ・民間企業、行政機関、NPO、公益法人等の団体
- ・医療機関、介護福祉施設またはそれに準ずる機関
- ・大学（出身研究室を除く）、研究機関、研究所、試験施設またはそれに準ずる機関

※国内外は問わない。

8.6 事前研修（必修）

インターンシップ事前研修として、「マナー講座」（日程は後日通知する。2回開催のうちどちらか1回のみの参加でよい。）への参加を必須とする。授業時間と重なるなど、やむを得ず、いずれの講座も受講できなかった場合は、学生部就職支援室にて貸出しているDVDを借りて動画視聴することにより、代替受講が可能である。

参加登録方法：アカンサスポータル→学務情報サービス→ポートフォリオ→就職システム→就職イベント

8.7 実習先の探し方

- ・企業のWebサイトや就職情報サイト（リクナビ・マイナビ）などから
- ・本学の就職支援室Webサイトの募集一覧から

<https://www.kanazawa-u.ac.jp/education/employment/students/internship>

（本学Webサイト「在学生」→進学／就職支援→在学生の方へ→インターンシップ）

- ・本学の理工系インターンシップWebサイトの受入企業一覧から

<https://www.se.kanazawa-u.ac.jp/gakunai/internship/index.html>

（本学Webサイト「学域・学類・大学院等」→理工学域→学域のWebサイトはこちら→（一番下の）就職・インターンシップ→○就職・インターンシップの「理工系インターンシップWebサイト」）

※ただし、こちらの掲載企業へは受入交渉が必要となるため、新学術創成研究科係へ相談すること。

- ・主任研究指導教員の紹介

8.8 保険への加入

入学手続き時に加入を義務付けていた以下の2つの保険に加入していない者は、インターンシップには参加できない。未加入の場合は、速やかに加入すること。

- ・「学生教育研究災害障害保険」
- ・「学研災付帯賠償責任保険Aコース」

8.9 旅費補助

必修科目「インターンシップ（金沢）」の単位認定の対象（正課）として参加するインターンシップに限り、旅費を補助する。補助額及び申請方法については、後日改めて通知する。

旅費補助の条件は以下のとおり。

- ・実習先が北陸3県以外であること。
- ・2020年3月31日までに実習が終了すること。
- ・実習先及びその他の団体等から交通費の支給がないこと。

8.10 届出及びフィードバックシート

実習先にインターンシップの評価をしてもらうため、フィードバックシートの記入を依頼する必要がある。実習先が決まったら、実習の始まる1週間前までに「**インターンシップ届出書兼誓約書**」（様式は研究科Webサイトよりダウンロード可）を新学術創成研究科係へ提出すること。その後、新学術創成研究科係にて企業宛ての依頼状（切手を貼った返信用封筒に依頼状とフィードバックシートを同封）を準備するので、指定した期日に窓口へ取りにくること。実習が始まったら、依頼状を実習先へ渡し、フィードバックシートの記入と返送を依頼す

ること。なお、実習先が海外となる場合は英訳したフィードバックシートへの入力を E メールにて依頼する。

また、フィードバックシートの内容は、後日、学生本人にも「フィードバックスコア」としてフィードバックする。

8.11 インターンシップ報告書

実習終了後 1 か月以内に、「インターンシップ報告書」（様式は研究科 Web サイトよりダウンロード可）を記入し、主任研究指導教員へ実習内容を報告して署名をもらった上、新学術創成研究科係へ提出すること。

8.12 成績評価

実習先より提出された「フィードバックシート」、本人提出の「インターンシップ報告書」等により、総合的に評価する。

8.13 自然科学研究科科目「創成研究Ⅰ」及び「創成研究Ⅱ」履修による読替

自然科学研究科で開講している科目「創成研究Ⅱ」②を本研究科の「インターンシップ（金沢）」②に読み替えることができる。ただし、「創成研究Ⅱ」の履修による読替希望者は、必ず、自然科学研究科開講科目「創成研究Ⅰ」②を併せて履修しなければならない。なお、読み替える場合は、8.10 及び 8.11 に記載した手続等は必要ない。また、8.12 は、「創成研究Ⅱ」の評価方法により評価する。

履修登録方法：「インターンシップ（金沢）」を通常どおり履修登録するとともに、「他専攻授業科目履修願」により「創成研究Ⅰ」を履修登録すること。

- ・「創成研究Ⅰ」・・・4～7 月にかけて行うオリエンテーションや事前講義で、この科目の履修をもって、8.6 の「マナー講座」の受講は免除する。開講時期は Q1・Q2 の水曜 6 限。
- ・「創成研究Ⅱ」・・・本研究科の学生の受入れを承諾している企業の中から、希望する実習先を複数選択し、マッチングされた企業にて、2～3 週間のインターンシップ実習を行う。実習終了後は、成果報告会にて発表を行う。ただし、「創成研究Ⅱ」で提出が必要な「インターンシップ実施報告書」の控えを新学術創成研究科係へも提出すること。

8.14 実習における注意点

- ・一旦受入先が確定した後は、原則、辞退やリタイアをしないこと。
- ・実習中の態度が悪いと、自分だけでなく、次年度以降のインターンシップ受入れや求人にも悪影響を与えることがあるので、「金沢大学を代表している」ことを肝に銘じること。
- ・守秘義務を厳守すること。実習中に知り得た情報は、実習後も未来永劫秘密にすること。また、知り得た情報を SNS や掲示板等に絶対に書き込まないこと。
- ・万が一、受入先の備品を破損・紛失してしまった場合でも、保険が適用となるので必ず申し出ること。また、備品を勝手に持ち出さないこと。

8.15 その他

- ・実習先が海外である場合、別途危機管理オリエンテーション等を受講する必要がある。
- ・単位認定の対象（正課）でないインターンシップに参加する場合も、万が一の際に保険を適用させるため、必ず実習前に「インターンシップ届出書兼誓約書」を新学術創成研究科係へ提出すること。

V 教育・研究指導体制

教育・研究指導体制として、まず1年次4月、出願時に希望した主任研究指導教員（本学）の研究室に配属する。その後、1年次10月を目途に副主任研究指導教員（JAIST）を決定する。これにより、両大学の教員が連携して研究指導を行う体制を確保し、学生個人ごとにきめ細やかな指導を行う。

1 主任研究指導教員（本学）

主任研究指導教員は、当該学生に対する教育研究上の指導の中心を担うものであり、研究テーマに関する授業の履修指導、研究指導、学位論文等の作成指導等を行い、副主任研究指導教員等と連携をとりながら、当該学生の指導に注力する。

学生は、主任研究指導教員の指導のもと、複数の科学分野を融合した、科学技術イノベーションに関連する研究テーマを設定する。設定した研究テーマに係る研究課題のアイディアを基に、主任研究指導教員と相談しながら、1年次終了時を目処に、修士論文等最終的な研究取りまとめの方法について決定する。主任研究指導教員は学生の研究成果を修士論文等として取りまとめることを目指し、文献調査や研究活動に係る指導を行う。

2 副主任研究指導教員（JAIST）

副主任研究指導教員は、主任研究指導教員と連携をとりながら、当該学生の研究が複数の科学分野の融合を実践していけるものとなるよう、主任研究指導教員とは異なる見地からの指導・助言を行う。

学生は自身の研究テーマに関して、主任研究指導教員とは異なる見地を持つ副主任研究指導教員の指導・助言を受け、同教員や学生との共同による研究、討論、学修等とおして、異分野からのアプローチ法を身に付けながら、自らの研究テーマに関する知見をさらに深化させる。

副主任研究指導教員は JAIST の教員であるが、学生に対する指導・助言は直接面談によって行うことを重視し、必要に応じてEメール等での指導・助言を行う。

3 研究連携協力教員（本学）

研究連携協力教員は、主任指導教員とは専門領域を異にし、学生に対し研究指導環境全体に関する相談や助言を行う教員のことで、本学に在学する全ての大学院生に配置することとなっている。

また、学生生活を支援するために本学に在学する全学生に配置することとなっているアドバイス教員と、重複する役割を持つため、本研究科においては研究連携協力教員がアドバイス教員を兼任する。

なお、研究連携協力教員の決定通知後は、学生が直接、担当教員へ連絡を取り、年2回（6月・11月頃目安）の面談を受けること。

VI 学位授与

1 学位申請

「融合科学研究論文Ⅰ」、「融合科学課題研究」、「融合科学博士研究計画調査」を除く修了要件を満たす見込みがつき、学位の授与を申請する者は、主任研究指導教員の下承を得た上で、学位申請書及び必要な書類を新学術創成研究科係に提出しなければならない。

学位申請書の提出時期は、修了予定月の2か月前の本学が指定する日までとする。

2 修士論文又は課題研究報告書の提出

修士論文研究又は課題研究を選択する学位申請者は、主任研究指導教員の下承を得た上で、本学が指定する日までに修士論文又は課題研究報告書を新学術創成研究科係に提出しなければならない。

博士研究計画調査を選択する学位申請者には、別途通知する。

3 中間発表・最終発表

学位論文の審査に向けて、2年次8月に、研究活動の中間発表会を行うこととし、2年次2月に、研究活動の最終発表会を行うこととする。中間発表会及び最終発表会は、主任研究指導教員、副主任研究指導教員のほか、本共同専攻の専任教員が参加することとし、中間発表時においては今後の研究遂行に当たって広く助言を受ける。また、最終発表会は、両大学の他専攻の専任教員や学生にも公開する。

4 学位論文審査

学位論文の審査は、本学において行う。同審査の審査委員は、本学から2名以上、JAISTから1名以上の計3名以上で構成する。審査に当たっては、中間発表及び最終発表で付された評価や意見を十分に考慮した上で判定を行う。

5 学位の授与

上述の学位論文審査の結果を踏まえて、両大学により設置される連絡協議会において、学位の授与に関する審査について審議する。連絡協議会では、学位論文審査結果を基に、学生の中間発表及び最終発表で付された評価や意見についても確認した上で、ディプロマ・ポリシーに掲げる

- ① 課題解決能力
- ② 専門的知識と実践力
- ③ 他分野への理解と実践力
- ④ 表現力・コミュニケーション能力
- ⑤ 研究者倫理観

の観点から合議により審議する。当該結果を受けて研究科会議等における必要な議を経た後、学位授与を行う。

6 学位取得に至るスケジュール

以下は、修士論文研究、課題研究を選択した学生の、2年間で課程を修了する場合の標準的なスケジュールである。博士研究計画調査を選択した学生のスケジュールは別途通知する。下記は主な事項のみを記してあるため、下記以外の事項及び具体的な日程については、研究科 Web サイト等で確認すること。

月	1 年次	2 年次
4 月	・研究室配属 ※ 主任研究指導教員（本学）の研究室に配属 ・基幹教育科目の履修 ※ Q1 から Q3 に履修（目安）	
5 月	・研究連携協力教員（兼アドバイス教員）の決定	
6 月		
7 月		
8 月	・異分野「超」体験セッション I の履修 ・異分野「超」体験実践 I 担当教員の希望調査 ・副主任研究指導教員（JAIST）希望調査 ・インターンシップ ※ 1 年次 8 月～3 月（目安）	・中間発表会
9 月	・異分野「超」体験実践 I 担当教員の決定	
10 月	・副主任研究指導教員（JAIST）の決定 ・異分野「超」体験実践 I の開始 ※ 1 年次 10 月～1 月（目安）	
11 月		
12 月		
1 月		・学位申請書等提出
2 月		・修士論文、課題研究報告書提出 ・最終発表会 ・修士論文審査、課題研究報告書審査
3 月	・研究取りまとめの方法を「修士論文」、「課題研究」、「博士研究計画調査」いずれかから選択	・学位記授与

Ⅶ その他

1 本籍大学

入学試験に合格し、入学手続を行った大学を「本籍大学」と呼ぶ。授業料の納入や奨学金の手続、各種証明書の発行、休学や退学などの身分に関する手続は、本籍大学において行うこと。

なお、図書館や施設、情報環境の利用等については、両大学で行うことができる。詳細は、各大学の担当係へ問い合わせること。

1.1 各種証明書

在学証明書や成績証明書、学割等は、本籍大学にて発行する。本学においては、学内 9 か所に設置された自動発行機で発行できる証明書（JR 学割証・成績証明書等）と、新学術創成研究科係へ申請が必要な証明書（奨学金受給証明書・学研災保険加入証明書等）があるため、詳細は大学院便覧や大学の Web サイトを参照すること。

なお、JAIST の自動発行機では証明書を発行しないこと。

1.2 休学等の手続

休学、退学等の手続については、本籍大学にて行う。本学の学生は、新学術創成研究科係にて手続を行うこと。

1.3 授業料・奨学金等

授業料の納入・免除、日本学生支援機構奨学金の手続等は、本籍大学において行うこと。

2 アカンススポータル・金沢大学 ID

本学では、ポータルサイト「アカンススポータル」を運用しており、履修登録、成績通知のほかにも大学からの事務連絡やスケジューラー機能等さまざまな用途がある。ログインに必要な「金沢大学 ID」と「仮パスワード」はオリエンテーションにて通知するが、「金沢大学 ID」は生涯 ID でとても大切となるので、しっかりと管理すること。なお、詳細は大学院便覧を参照すること。

3 ネットワーク ID・E メールアドレス

本学で、E メールアドレスを取得したり、無線 LAN 等を利用するためには、ネットワーク ID を登録する必要がある。登録は本学の「総合メディア基盤センター」の下記 URL より行うこと。

<http://www.imc.kanazawa-u.ac.jp/service>

なお、取得したネットワーク ID は、そのまま本学の E メールアドレスになる。

（例：登録したネットワーク ID が abcdefg の場合、abcdefg@stu.kanazawa-u.ac.jp が E メールアドレス）

4 各大学からの連絡

本学では、研究室が各キャンパスに点在しているため、特定の掲示板は設けない。学生への連絡は、その内容の重要度に応じ、次の 3 つの方法で行う。なお、連絡を見落としたことによる不利益は救済しない。

高：入学手続時に登録したメールアドレス（連絡の取りやすいアドレスへ変更可）宛にメールにて通知

中：中長期的に掲示が必要な案内 → 研究科 Web サイトの「在学生へ」のページに掲載

低：他の Web サイトでも公開されていたり、対象者がほとんどいないと思われる案内

→ アカンススポータルにて通知

アカンススポータルでは、各種通知を個人の E メールアドレスに転送することができる。「設定」メニューの「転送用・緊急用メールアドレス設定」から、個人の E メールアドレスなどに転送設定を行うこと。アカンス

ポータルの利用について不明な点があれば、ポータル内の「問い合わせ」ページから、FAQ で確認するか、フォームにより問い合わせること。

JAIST では、連絡は主に E メールにより行われる。Web-Mail を利用することにより、いつでもどこでもメールを確認することができる。Web-Mail の利用方法は、情報社会基盤研究センターWeb サイトから確認すること。

休講・補講・講義資料の送付等の通知も E メールにより行う。E メールによる連絡を見落としたことによる不利益は救済されない。JAIST が提供する E メールアドレス及びパスワードは、オリエンテーション時に通知する。JAIST が提供する学生番号による E メールアドレスは変更することができる。方法は、JAIST の情報社会基盤研究センターWeb サイトから確認すること。

JAIST の E メールアドレスに届いた E メールを転送する場合は、Web-Mail の「プリファレンス」から転送先を設定できる。不明な点があれば、JAIST の情報社会基盤研究センターWeb サイトの FAQ で確認するか、問い合わせフォームから問い合わせること。

また、JAIST では、教育支援課・学生支援課事務室前（知識科学系講義棟 2 階）に掲示板があるので確認すること。

5 無料送迎車

本学の学生が JAIST に通学する負担を軽減するために、無料送迎車を運行する。時期は、基本的に 1 の 1 期・1 の 2 期及び JAIST にてラボローテーションを実施する 10・11 月の運行を予定している。**下表は 2018 年度の運行概要**を参考に示す。2019 年度は別途、希望者数に応じて、車種（マイクロバス・タクシー等）、運行日時、本学停車場（自然研前・宝町のいずれかもしくは両方）を設定する。詳細は研究科 Web サイトの「在学生へ」のページにて確認すること。なお、利用の際は学生証を携帯すること。

【参考：2018 年度運行概要】

時期	運行日	内容
1 の 1 期	火曜・木曜 (火曜・木曜の科目の) 定期試験実施日	往路朝便 復路夜便 1 日 1 往復
1 の 2 期	火曜・木曜 (火曜・木曜の科目の) 定期試験実施日	往路朝便 復路夜便 1 日 1 往復
10・11 月	月曜・火曜・木曜	往路朝便 } 往路 往路昼便 } 2 便 復路夜便 }

6 駐車場の利用

自家用車での通学については、交通ルールを順守し、くれぐれも安全運転に留意すること。特に、JAIST へ自家用車で通学することも多くなるため、事故を起こさないよう注意すること。

本学へ自家用車で通学する場合は、アカンサスポータルにて駐車許可を申請すること。ただし、希望者全てに許可するとは限らないため、許可されない場合もある。また、宝町キャンパス及び鶴間キャンパスの駐車許可を希望する者は、別途新学術創成研究科係に問い合わせること。なお、宝町キャンパスの駐車場利用には、入構料が必要である。

宝町キャンパスの駐車場を定期的に使用する学生は、パスカードを申請すること。それ以外の学生は、入構料の支払により利用できる。

○宝町キャンパスパスカード料金：1,575 円（1 か月）、18,900 円（1 年間）

※ 夜間休日専用パスカードあり

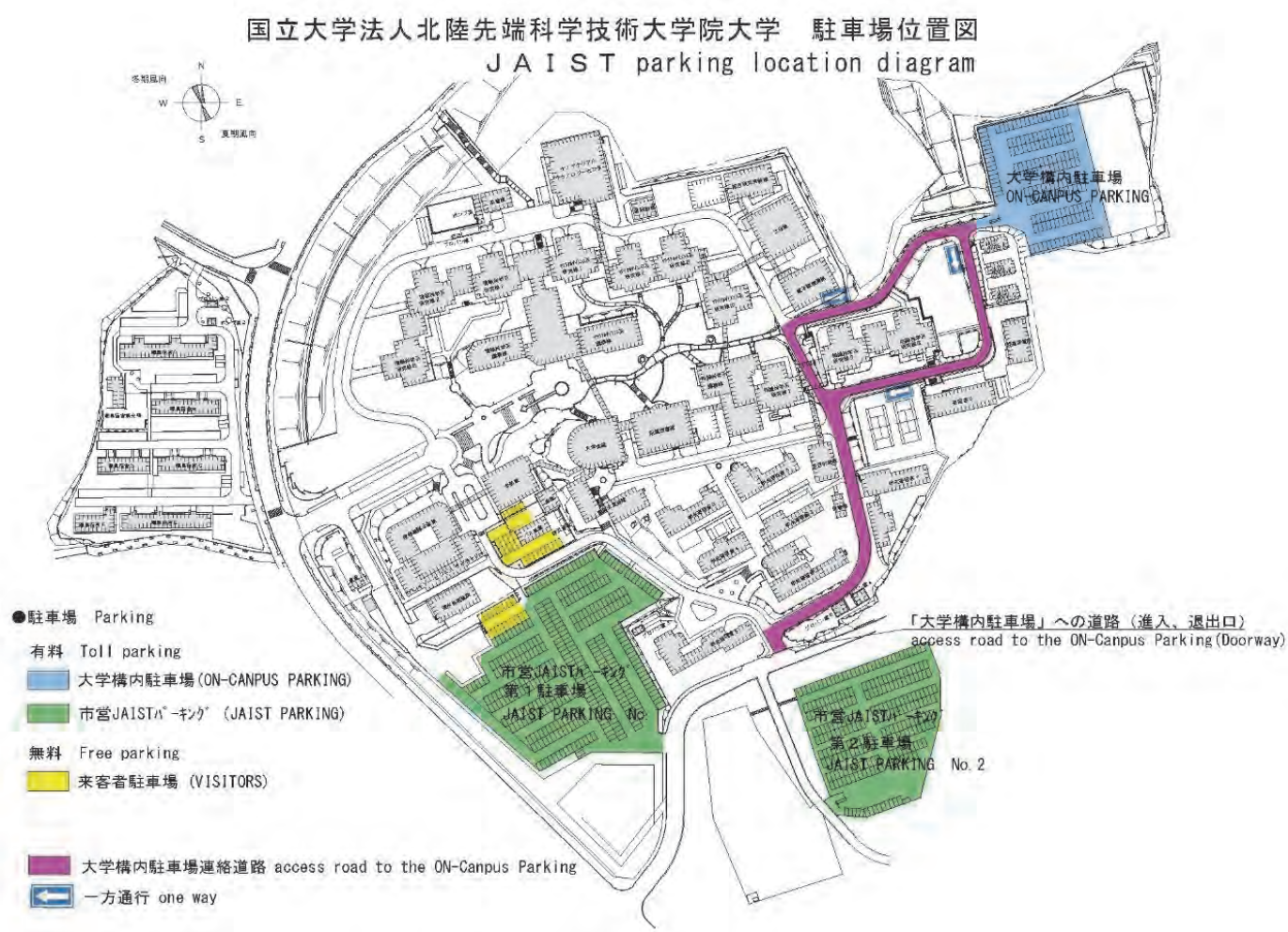
○宝町キャンパス入構料：150 円（最初の 30 分を超えて 30 分ごとに）

※ 割引を行う場合がある。新学術創成研究科係に問い合わせること。

JAIST 駐車場の利用希望者は、次の内容を確認のうえ、必要な手続をすること。

(1) 駐車場

- ・大学構内駐車場（166 台）



(2) 料金

- ・駐車料金 無料（金沢大学に本籍を置く学生については無料となる。）
- ・パスカード発行手数料 1,000 円／枚（新規、再発行時）

7 学生証

本学の学生証については、オリエンテーションにて配布する。身分を証明する以外にも、以下のとおりさまざまな機能を持ち、ICチップが埋め込まれているため、磁気に近づけない、強い衝撃を与えない等、取扱には十分注意すること。また、他人との貸し借りは絶対に行わないこと。紛失又は破損の場合は、交付手数料（2,100 円（2019 年 10 月より 2,200 円））が必要となる。

- 一部の授業を受ける際の出席管理として
- 一部の建物の入館の際にカードキーとして
- 事前にチャージし、学内の食堂や生協で電子マネーにて支払うとき
- 図書館で本を借りるとき
- 定期健康診断を受けるとき
- 証明書自動発行機で各種証明書の交付を受けるとき

なお、紛失や盗難にあった時は、直ちにアカンサスポータルにて、IC カード一時停止申請を行うとともに新学術創成研究科係に届け出て、再交付の手続きを行うこと。

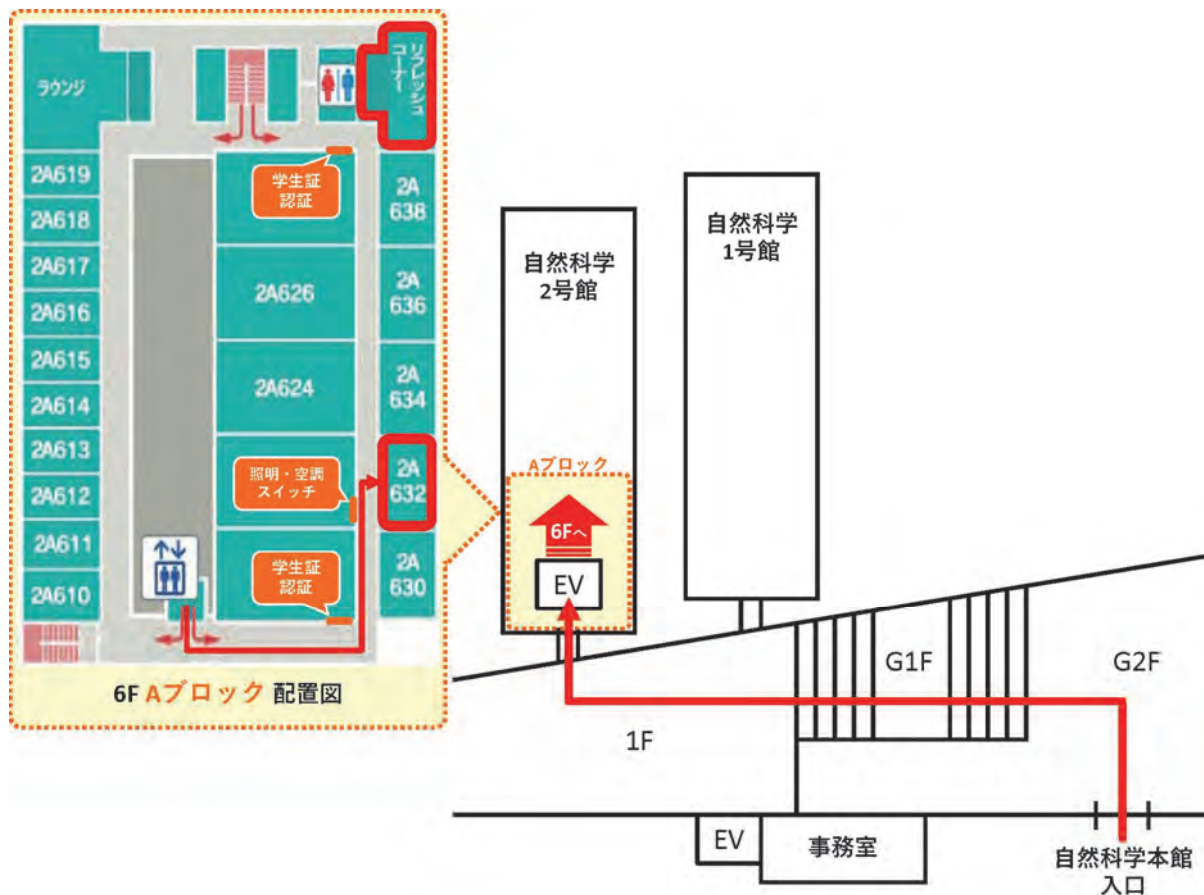
JAIST の学生証についても、オリエンテーションにて配布する。機能や注意点についても本学とほぼ同様で、再交付には 2,000 円が必要となる。詳細は JAIST の Web サイトにて確認すること。

8 自習スペースの利用

本学の自習スペースは、角間キャンパス南地区の自然科学 2 号館 6 階 A ブロック 632 に設けており、融合科学共同専攻の学生（JAIST 本籍の学生を含む）専用となっている。液晶ディスプレイ、ホワイトボード、ロッカーを自由に利用することができる。運用のルールは次のとおり。

- 施錠エリア立入りの際は本学学生証にて開錠すること。
- フロアには他の研究室もあるため、大声で話すなど、周りに迷惑となる行為は控えること。
- ロッカーはノートパソコン等の一時保管用であり、金銭は入れないようにすること。各自で暗証番号を設定する（設定方法はロッカーの表示を参照）ことでロック・解錠ができる。長期間、預け入れたまま放置しないこと。
- ふた付きのドリンクの持ち込みは可能だが、食事はリフレッシュコーナーを利用すること。
- ゴミは放置せず持ち帰り、整理整頓を心がけること。
- 退室する際は照明や空調等すべてのスイッチを切り、窓を開けた場合は戸締りもすること。
- 万一、設備・物品等を破損・紛失した場合は、速やかに新学術創成研究科係まで連絡すること。

【本学自習スペースへの経路】



本学学生の JAIST での自習スペースは、マテリアルサイエンス系研究棟 I 棟 3 階の M1-32 室に設けている。
 共用の PC、プリンター、スキャナが用意されており、3 名まで利用可能。その他、附属図書館も自習等に利用できる。

担 当 金沢大学 学生部 学務課 新学術創成研究科係
〒920-1192 石川県金沢市角間町
電話 076-264-5971
E-mail s-yugo@adm.kanazawa-u.ac.jp